

第50回冬期講習会 光を用いた非破壊イメージング



主催：一般社団法人 日本光学会

共催：公益社団法人 応用物理学会フォトニクス分科会（申請中）

協賛（依頼予定）：計測自動制御学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本機械学会、レーザー学会、日本物理学会、日本分光学会、日本フォトニクス協議会、光産業技術振興協会、日本非破壊検査協会、照明学会、画像電子学会、映像情報メディア学会、日本眼光学学会
後援：オプトロニクス社

光を用いた非破壊イメージングは生体観察から構造物検査など様々な分野で利用されている。最近では、AIや機械学習などの新しい計算イメージング技術の導入が加速化している。今回は光を用いた非破壊イメージングの関連分野の著名な講師の方々をお招きして、さまざまな非破壊イメージング技術の基礎と応用および計算イメージング技術による高機能化・高性能化に関して解説していただく。光を用いた非破壊イメージングやその応用技術に興味をお持ちの研究者、技術者、学生の皆様にとって、充実した講習になると考えています。この貴重な機会に多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2024年1月25日（木）、26日（金）（オンライン開催）

1月25日（木）		
10:00~10:10	開会の辞 日本光学会会長	川田 善正（静岡大学）
10:10~11:50	フィールドでの近赤外・赤外分光計測	古川 祐光 （産業技術総合研究所）
11:50~13:00	< 昼食 >	
13:00~14:40	6G時代のテラヘルツ波を用いたAI・ICTと非破壊・非接触IoTセンシング技術	味戸 克裕 （大阪国際工科大学）
14:40~14:50	< 休憩 >	
14:50~16:30	符号化撮像と画像再構成	中村 友哉（大阪大学）
1月26日（金）		
10:00~11:00	サブTHz-FMCWレーダーイメージングを用いたウォークスルー型ボディスキャナの開発	碓 智文（スペクトルデザイン、理化学研究所）
11:00~12:00	多波長テラヘルツパラメトリック発生による郵便物非開披検査	村手 宏輔（名古屋大学）
12:00~13:00	< 昼食 >	
13:00~14:00	赤外線計測に基づく非破壊評価・状態監視技術	阪上 隆英（神戸大学）
14:00~15:00	NIR-HSIによる農産物の非破壊評価	稲垣 哲也（名古屋大学）
15:00~15:10	< 休憩 >	
15:10~16:10	OCTによる非侵襲生体イメージングと眼科応用研究	山成 正宏 （トーマコーポレーション）
16:10~17:10	光と超音波を融合した非侵襲イメージング — 基礎から応用まで —	山岡 禎久（公立小松大学）
17:10~17:20	閉会の辞 実行委員長	吉川 宣一（鳥取大学）

申込方法：日本光学会 第50回冬期講習会ウェブサイト（<https://winter-symp2024.award-con.com>）内の参加登録フォームよりお申し込みください。

参加費：日本光学会個人会員・応用物理学会個人会員 20,000円
日本光学会賛助会員・協賛学協会個人会員 25,000円
日本光学会学生会員・応用物理学会学生会員 1,000円
非会員 40,000円 学生非会員 3,000円

参加費のお支払い：クレジットカード払いのみとさせていただきます。

※日本光学会の行事参加割引券（日本光学会賛助会員対象）がご利用いただけます。請求書ならびに領収書は参加登録システムよりPDFで発行いたします（原紙郵送はいたしませんのでプリントアウトしてお使いください）。原則として参加費の払い戻しは致しません。

申込締切：2024年1月11日（木）12:00（予定）

お問合せ（申込）：日本光学会事務局 E-mail: info@myosj.or.jp

（内容）：実行委員長 鳥取大学 吉川 宣一 E-Mail: ws2024@myosj.or.jp